
一体型蓄電システムのラインナップを拡大して今秋新発売 ～約 20 %のコストダウンと約 3 分の 2 の省スペース化を実現～



<20kW 一体型蓄電システム製品写真>

株式会社 YAMABISHI（本社：東京都大田区 CEO：蓮池一憲）は、公共産業向けリチウムイオン蓄電システムのラインナップを拡大して 2015 年秋より発売いたします。本システムは、最大で双方向電源装置 20kW・リチウムイオン蓄電池 22kWh・太陽光発電用 MPPT DC/DC コンバータ 30kW の 3 要素を 1 筐体に内蔵いたします。従来の複数筐体型と比較して約 20%のコストダウン、2/3 程度（当社比）の省スペース化を実現いたします。

公共施設（学校・福祉施設・公民館・警察署・消防署・道の駅など）、工場、病院、オフィス等に設置する場合、スペースが限定されるケースもありますが、本システムであれば柔軟に対応可能です。

本システムの導入により、接続機器への電源供給を蓄電池・太陽光発電・系統電源で行うとともに、接続機器の使用状況に応じて最適にマネジメントいたします。また、停電時には系統を切り離し、蓄電池・太陽光発電を利用して安定した自立運転を行い、負荷への電力供給を継続いたします。

▼「蓄電システム YRW シリーズ」の詳細はこちらから▼

<http://www.yamabishi.co.jp/product/yrw/ess/index.html>

■特徴

- ・双方向電源 20kW + 蓄電池 22kWh（最大） + MPPT DC/DC コンバータ 30kW（最大）を 1 筐体に搭載
- ・蓄電容量は 11kWh/14.3kWh/15.4kWh/22kWh から任意に選択可能
- ・单相 2 線、单相 3 線、三相 3 線 全て対応可能（寸法も同等）
- ・外形：W1000×D750×H1850mm（従来品は W1900×D650×H1700mm/22kWh）
- ・質量：約 800kg（従来品は約 1400kg/22kWh）
- ・リチウムイオン蓄電池は信頼性の高い株式会社東芝製 SCiB(TM) を搭載
- ・「WEB みえる化システム」の標準搭載により発電量や電力使用量の見える化が可能

- ・装置正面のカラータッチパネルにより電源の状態監視や各種設定が可能
- ・豊富な計測項目により電力需給状態を的確に把握可能
- ・UPS グレードの自立運転機能を装備
- ・停電時には無瞬断で自立運転に移行（三相機種）
- ・ピークカット（シフト）により電気料金を削減可能
- ・オプションとして屋外仕様、外部電力計測（系統受電点の電力監視）、スコットトランス、コールドスタート（停電時スタート）も対応可能

■電力需給状況の視覚化「WEBみえる化システム」画面例



ホーム画面



エコグラフ画面

■概要（参考）

型式：YRW-310-20SH-3PV-22Lib

双方向電源：三相3線 200V 20kW

リチウムイオン蓄電池：22kWh

太陽電池接続範囲：約 20kW

希望小売価格：14,100,000 円（税抜）

■株式会社 YAMABISHI 会社概要

- (1) 商 号：株式会社 YAMABISHI (<http://www.yamabishi.co.jp>)
- (2) 代 表 者：CEO 蓮池一憲
- (3) 本 店 所 在 地：東京都大田区大森北 2-4-18
- (4) 設 立 年 月 日：昭和 33 年 3 月
- (5) 主 な 事 業 の 内 容：電源装置の開発・製造・販売
- (6) 資 本 金：3,000 万円

■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社 YAMABISHI 東京営業所 Tel：03-3767-8861